

横河秋濤 よこがわ しゅうたう 蘭方醫、漢詩人。文政五年十一月十九日播磨國生れ、
明治十八年八月二十八日歿（八三―全）。講文館、字鏡甫、幼名冬藏、
通稱勘解由、鼎。東上して蘭學を修め、嘉永二年歸郷して西洋醫術を
唱へ開業。のち歐米醫師と往來、有志と共に姫路病院を設けり。また加
古川、高砂等にも開院するなど地方の醫療に盡瘁。建築家横河氏輔は
その弟（二子）。

著書に『開化の入口』全二冊（明治八年十一月大阪・松邑文海堂）、

『播磨風土詩』全二冊（明治二十六年四月八日横河氏輔編刊、大倉書
店）。